

目次

ごあいさつ	1
クボタ創業2世紀ビジョン	2
クボタ地球環境憲章 全社環境基本方針 / 重点推進事項	3
クボタと地球環境 環境調和技術・製品の提供	4
大地: シェルケア緑化プロジェクト / グリーンアース計画 / サヘル・グリーンベルト計画	5
水: 膜分離排水処理システム / ダイオキシン類分解装置	6
大気: クリーンエンジン	7
暮らし: 下水汚泥焼却溶融炉 / 小型合併浄化槽 / 廃プラスチック油化プラント / 噴水設備	8
自然: 小水力発電システム / 太陽光発電瓦『エコロニー』	10
環境調和創造活動実績 事業本部別環境調和製品・技術開発	11
環境関連新技術・製品	12
設計開発段階における環境配慮	16
LCAの例 / 部品点数削減・分解容易化・材質記号のマーキング等の例 / 製品アセスメントの例	
クボタ環境マネジメントシステムの拡充と実績	19
環境管理	20
クボタ環境マネジメントシステム(KEMS)	
地球環境委員会活動 / ISO 14001 認証取得状況	
環境監査 / 環境活動目標と実績 / 環境コスト	
ゼロ・エミッション化対策	26
産業廃棄物のゼロ・エミッション化	
省エネルギー・省資源対策	28
省エネルギー対策 / 省資源対策 / 物流段階での環境保全対策 / オフィスでの環境対策	
地域環境・作業環境保全	32
地域環境保全 / 作業環境改善 / 化学物質管理	
環境教育・啓発活動	36
社会貢献活動	37
情報発信	38
環境保全活動の歩みと外部表彰	39
用語解説	40

会社概要

部門別売上高比率



報告書の編集方針について

本報告書の活動内容・データは、全事業所の1998年度(1998年4月1日～1999年3月31日)の実績を主体として一部過去の活動と1999年度の活動を含んでいます。

本報告書は「環境調和創造企業をめざす」当社の取り組みについて第1の重点報告事項として「クボタと地球環境」の章で、当社が地球環境の保全に幅広い分野で取り組んでいる活動について、大地、水、大気、暮らし、自然という項目に分けて環境と調和する技術・製品等について紹介しています。

次に第2重点報告事項として「クボタ環境マネジメントシステムの拡充と実績」の章で、環境と調和する事業活動のベースとなる環境マネジメントシステム、製品づくりを通じてのゼロ・エミッション化、省エネルギー・省資源対策等について紹介しています。